

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2016 市民／学生応募用紙

|                 |                                       |              |             |
|-----------------|---------------------------------------|--------------|-------------|
| 地域課題タイトル<br>(注) | No.<br>23                             | タイトル<br>観光振興 | 自治体名<br>金沢区 |
| アイデア名<br>(公開)   | 八景島シーパラダイスとの提携し、スマホアプリなどによるスタンプラリーの実施 |              |             |

(注) 地域課題タイトルは、COG2016 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

### 1. 応募者情報

|            |                                                                                                                        |       |  |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--|
| チーム名 (公開)  | 関東学院大学経済学部中泉ゼミナール 2 年 B チーム                                                                                            |       |  |
| チーム属性 (公開) | <input checked="" type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム |       |  |
| 代表者情報      | 氏名 (公開)                                                                                                                | 佐藤 駿広 |  |

#### ※ 公開条件について

次ページ以降の「2. アイデアの説明」でご記入いただく内容は、内容を確認した上で、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

#### (注意書き)

##### <応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2016\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2016 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2016@pp.u-tokyo.ac.jp

##### <公開非公開など>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
4. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。
5. 「アイデアの説明」中に、文章、写真、図画などで応募したチーム以外に知的所有権が属する箇所がある場合には、法令に従った引用や知的所有権者の許諾を得るなどをした旨をそれぞれ注として書いてください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。

##### <チームメンバー名簿>

6. チームメンバーは別紙のエクセルファイルに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は COG 事務局からは非公開です。詳細は別紙をご覧ください。)

## 2. アイデアの説明（公開）

データや資料を活用して課題の具体化とその解決につながるアイデア（公共サービス）のストーリーを語ってください。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれがする、何を、どこでする、いつする、どのようにするものなのかを考えて、各要素を入れて内容を描きストーリーを整理していくとよいでしょう。以下の欄内でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

#### 【デジタルデバイスを利用したスタンプラリーの実施】

スマートフォンが生活必需品になりつつある現在、ライブやコンサートなどでは、電子チケットが普及している。このスタンプの技術を応用して、スタンプラリーを計画する。紙媒体に比べデータの活用が容易であるため、転売・転用を制限しなければ、多くの人に金沢区を知ってもらうことが出来る。

金沢区では歴史 AR アプリ「歴史めがね」<http://kirakana.city.yokohama.lg.jp/rekishisanpo/> がある、また、神戸のベンチャー企業がサービスとしてリリースしているモバイルスタンプラリーサービス「RALLY」なども利用できる。<https://rallyapp.jp/> 更に、金沢区の子育てアプリ「かなざわ育なび.net」(<http://kirakana.city.yokohama.lg.jp/>)との連携も考えられる。これらのアプリの利用し、その機能を拡充することで、博物館、歴史文化施設、温泉など、ジャンル別にスタンプカラーをわけ、カラーを全色集めると何らかの特典を出す仕組みを作る。八景島シーパラダイスと提携し、観光案内のための資料を八景島シーパラダイスに置くことを提案する。また、特典も八景島シーパラダイスの割引券もしくは八景島シーパラダイスオフィシャルグッズなど八景島シーパラダイスを中心にしたものとする。客数の多いシーパラダイスと宣伝面で広く連携を取りたい。特典は、スタンプラリー限定、リピーター創出を可能にする特典であることが望ましい。そのためには、シーパラダイスのパス等のチケットとの交換が考えられる。

#### 【複数のジャンルの施設を観光を推奨】

シーサイドラインの一日乗車券を案内して、観光客の好きな施設を回ってもらう。オススメのコースを複数用意（各ジャンルから1施設ずつピックアップしてみる）し、それを参考に施設を回ることも可能。各ジャンルより1施設を回ってもらうことが狙いであり、選択肢として模範コースを作成し案内する。

例)金沢区の観光施設を以下のようにジャンル分けし、施設番号を付ける。各ジャンルから一施設ずつ選択し、それぞれの観光コースを提案。

ジャンル(1)博物館 ①県立金沢文庫 ②菌検査室

ジャンル(2)歴史文化施設 ③旧伊藤博文金沢別邸 ④夕照橋

ジャンル(3)温泉 ⑤シーサイドスパ八景島 ⑥リネツ金沢 ⑦能見堂赤井温泉

コース A : ①,③,⑤ コース B : ①,④,⑥ コース C : ②,④,⑦

※全12通りのコースを観光客が選択可能。

その他、これについては、横浜金沢観光協会(<http://www.yokohama-kanazawakanko.com/>)のシティガイドコースやNPO法人、横浜金沢シティガイド協会(<http://yokokanaguide.org/>)のおすすめコースなどを参考にする。

## (2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアにするのか）を、それをサポートする数値データ（実績、統計やアンケートなど数字であらわされるもの）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつご記入ください。数値データや証拠は出所を明らかにしてください。以下の2ページの欄内におさまるようお願いいたします。

金沢区の観光業は、その多くの割合を八景島シーパラダイスが占める。

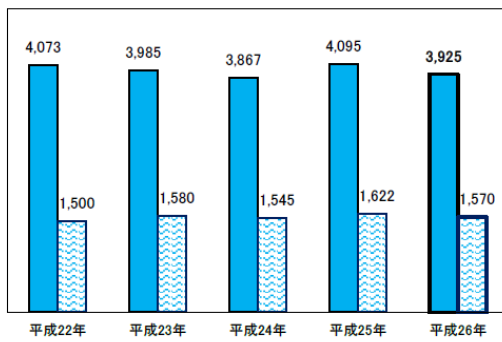
そのほかにも、歴史文化施設や寺社・公園、グルメや温泉など、様々な観光スポットが存在する。

しかし、八景島シーパラダイスと比べると少数の観光者数であり、多くの人に認知されていないという現状がある。

こうした現状から、八景島シーパラダイスを集客の中心に展開するアイデアを発案する。以下では、実際の観光者数を比較する。

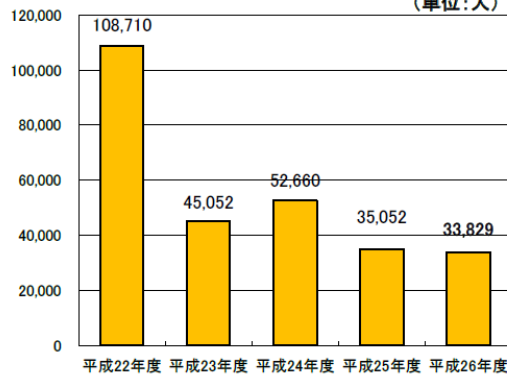
### ●横浜・八景島シーパラダイス

●入園者数の推移 資料：横浜・八景島シーパラダイス 各年  
■入園者数 ■水族館入館者数 (単位：千人)



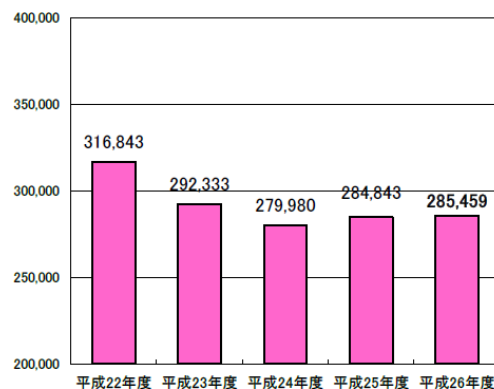
### ●県立金沢文庫

●入館者数の推移 各年度  
(単位：人)



### ●金沢動物園(金沢自然公園内)

●入園者数の推移 各年度  
(単位：人)



八景島シーパラダイスの観光客数は、約400万人であり、金沢区全体の65%を占めている（その他の観光スポットの全てをあわせたものは、35%）。八景島シーパラダイス以外の観光スポットに焦点を当て、皆さんに知ってもらう必要がある。多くの人に訪れてもらうことで、地域の活性化につながると考える。

既に八景島シーパラダイスが高い集客を得ているため、そこから金沢区全体へ足を運んでもらうこと、シーパラダイスの更なる集客（収益？）につなげることが、基本的な考え方である。

シーパラダイスが金沢区と連携することのメリットは、シーパラダイスが地域密着のレジャー施設という意味も持つことで、イメージアップにつながることが挙げられる。また後々は、金沢区の大規模な観光事業となり、横浜市、神奈川県、あるいは全国へ向けた宣伝になると考えられる。

参考：区内の観光スポット一覧データ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kz-opendata/kz-opendata.html#04>

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現にいたるプロセスとマイルストーン等、アイデア実現までの大まかな流れについて、以下の欄内におさまるよう、簡潔にご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

- ・アプリケーションの拡充を行うと同時に、以下の点について、観光協会等の団体に委託する。
- ・観光模範コース作成  
（アプリ内にお勧めコースや案内、マップなど入れられるとよい。）
- ・スタンプのデザイン
- ・協力してくれる観光の施設・団体を探す。
- ・広告の製作の依頼
- ・シーサイドラインの沿線にある観光スポットに許可を貰いに行く（店舗なら店舗に、史跡などは管理者に許可を貰う）
- ・特典（グッズやクーポン券）などの作成許可および作成  
八景島シーパラダイスのオリジナルグッズや、地元グルメ・レジャー施設で使う事のできるクーポン券など
- ・広告設置場所を考える  
広告の設置場所を、効果を含めて考え、許可を貰いに行く。（シーサイドラインの電車の中・駅中など）

#### (4) そのほか（公開）

アイデアのアピールポイントや、アイデア実現に当たっての制約があればそれとその当面の解決方法、さらに将来の発展可能性（例えば「将来的に xx という制約をクリアできれば、追加で○○ということが実現できる」など）について、以下の欄内におさまるよう、簡潔にご記入ください。

今までは一か所に観光客が集中していたが、八景島シーパラダイスに観光案内を設置することで今まであまり認知されていなかった観光地に足を運んでもらう。

##### 【アピールポイント】

- ・スマートフォンなどのデジタルデバイス普及を考慮した、アプリケーションによる課題解決方法であること
- ・多くのツアーとは違い、ジャンルの垣根を越えた観光案内。  
→それにより、普段足を運ばない施設などに訪れて貰うことが可能に
- ・スタンプラリー計画による新しい製品（景品）を生み出すこと

##### 【将来の発展可能性】

- ・将来的に、八景島シーパラダイスのアミューズメントや展示と金沢区の他の施設とのコラボレーションが実現すれば、コラボレーショングッズを売り出せる。
- ・金沢区全体で大規模な観光事業を行うことが出来る。
- ・横浜市内の各区で同様のスタンプラリーを行えば、スタンプラリーのコースのバリエーション増加、他区の認知度の低い観光地への客数増加、公共交通機関の利用増加など、広く展開することも可能である。